

公開講座 講師インタビュー

講座番号 9 「彫って作ろう！2026」

担当講師 加藤 可奈衛 教授

大阪教育大学がある柏原市でも地域に寄り添った幅広い活動を展開されている美術・書道教育部門の加藤先生にインタビューを行いました。ぜひご覧ください！



講座の様子（真ん中 加藤 可奈衛先生）

■ ご専門分野、これまでのご経歴を簡単に教えてください。

彫刻・立体造形を専門とし、「粘土」「石」といった素材との直接的な造形を基盤に制作と研究を行ってきました。素材の質感や手や道具の痕跡を生かした表現とともに、美術教育の分野と連携した実践もしています。

■ 現在の活動内容（担当授業・研究内容など）を教えてください。

大学では彫刻・立体表現の授業のほか、小学校教員養成に関わる図画工作、美術の地域での可能性を探る実践的な授業なども担当しています。研究では、粘土の特性を活かした造形や、素材の循環遠意識した造形研究を行っています。また、そこから派生して、地域の方々とのアートプロジェクトや、ワークショップ活動なども行っています。

■ 公開講座の講師をされるようになったきっかけは何ですか。

子どもから大人まで、多くの方が素材に触れ、形を生み出す喜びを体験できる場が出来たらよいな、と思ったことがきっかけです。公開講座は地域と大学をつなぐ大切な学びの場であり、その中で創作の楽しさを共有できることに魅力を感じます。また、彫刻や立体造形を実際に体験できる場は限られているように思います。本学の素晴らしい環境を活かした地域貢献にもなればと思っています。

■ 今回の講座のテーマや特徴を教えてください。

「彫ってつくろう！」をテーマに、素材から彫り出すことで形を生み出す造形体験を行います。子ども対象では石膏ブロックを用い、一般対象では本格的な石材を使った制作に取り組みます。制作の過程で、粘土や木材による試作を行う方もあり、素材の違いを感じながら自分の表現を探っていくことが特徴です。

■ どのような方を対象にした講座でしょうか。

子どもから一般の方まで、彫刻や立体制作が初めての方でも参加できる講座です。ものづくりが好きな方や、主に石膏や石材に触れてみたい方など、経験や年齢に関わらず受講いただけます。また、「何か作ってみたいけど平面（絵画や版画など）ではないな」と思われている方、とりあえず立体表現してみたい方などにもぜひ一度来ていただきたいです。

■ 受講者の方には、特にどのような力や知識を身につけてほしいですか。

彫ることで形が現れてくる感覚や、素材の硬さ・重さ・質感への気づきを体験してほしいと思います。また、試作や試行錯誤を通して、自分なりの形を見つけていく創作のプロセスの面白さを感じていただければ嬉しいです。

■ 指導するうえで大切にしていることは何ですか。

一人ひとりの発想や制作のペースを尊重し、完成の形を決めすぎないことを大切にしています。素材と向き合う中での発見や偶然の形も創作の魅力として受け止めています。

■ 初心者から経験者まで幅広い方が学びやすくするための工夫は何ですか。

基本的な彫り方や道具の扱いは丁寧に示しつつ、素材や表現の進め方は段階的に選べるようにしています。石膏から石材へ進むことも、粘土や木、場合によってはその他の素材も使ってアイデアを考えたり、試作してから彫ることも可能で、それぞれの経験に応じた取り組みができるようにしています。また、講座の実施期間を大きく取ることで、じっくり考えながらマイペースで受講していただけるようにしています。

■ これまでに印象に残っている講座内のエピソードがあれば教えてください。

石に触れるのが初めての方が、最初は恐る恐る彫っていたのですが、次第に集中して音や手応えを楽しむようになり、「石彫るの、楽しいです」と話されたことが印象に残っています。素材との出会いが新しい感覚を開く瞬間だと感じました。さらに、受講を機会に地域の展覧会へ出品され、受賞を重ねる方もいらっしゃいます。

■ 先生が考える「公開講座の魅力」とは何でしょうか。

子どもから大人まで多様な方が同じ場で素材に向き合い、互いの制作を見合えることだと思います。（適宜発表会や作品展なども実施します）お互いの制作を通して自然に会話が生まれ、世代や立場などに関わらない学び合いが起こる点が大きな魅力だと思います。

■ 年齢に関係なく学び続けることについて、先生のお考えを教えてください。

表現活動は年齢に関係なく新しい発見があります。経験を重ねた分だけ素材の感じ方や形の見え方も深まります。身体を動かして、素材の声を聞きながら制作することは、自分の感覚を更新し続けることだと思います。

■ 受講を考えている方へメッセージをお願いします。

石を彫る体験は特別な技術が必要と思われがちですが、コツコツ時間をかけて少しずつ、誰でも形を生み出すことができます。「彫ってみたい」という気持ちがあれば大丈夫です。素材に触れ、形が現れる喜びと一緒に味わいましょう。

■ どのような方に特におすすめしたいですか。

石や立体表現に興味のある方、手を動かす時間を持ちたい方、無心になれる制作体験をしてみたい方におすすめです。また、これまで平面（絵画や版画など）中心だった方や、「何か作ってみたいけれど平面ではないな」と思われている方、とりあえず立体表現をしてみたい方にもぜひ一度来ていただきたいです。新しい表現の入口として体験していただければと思います。

～最後にメッセージ～

石や素材を彫る行為は、ゆっくりと時間をかけて形を見つけていく営みです。この講座が、素材に触れる楽しさや、自分の手で形を生み出す実感に出会う機会になれば幸いです。

初夏から秋の気配のする頃まで、講座の期間を長く設定しています。毎月1回（2日）の設定ですが、一時的に制作するのではなく、日々の生活のなかで、少しずつご自身の制作について考えていただければと思います。

地域の中でアートの場が広がっていくことを願っています。



PROFILE 加藤 可奈衛（かとう かなえ） 表現活動教育系 美術・書道教育部門 教授
【大学担当授業】 コミュニティとアート、デッサン論、彫刻演習 など

講座詳細はこちら

https://osaka-kyoiku.ac.jp/liaison/lifetime/open_course/
「大阪教育大学公開講座」で検索！

